

統計表

付表1 賃金の改定の実施状況別企業割合の推移

(単位：%)

年	全企業	賃金の改定を実施した又は予定している						賃金の改定を実施しない ⁴⁾	未定 ⁵⁾
		小計 ¹⁾⁶⁾	賃金の改定の実施時期 ²⁾		1～8月のみ ³⁾⁷⁾	9～12月のみ ³⁾⁷⁾	1～8月及び9～12月 ³⁾⁷⁾		
			1人平均賃金を引き上げた・引き上げる	1人平均賃金を引き下げた・引き下げる					
昭和 57 年	100.0	97.6	…	…	92.1	1.1	4.3	1.0	1.4
58	100.0	95.7	…	…	90.8	1.9	3.0	2.5	1.8
59	100.0	97.5	…	…	92.3	2.0	3.2	1.4	1.1
60	100.0	97.0	…	…	91.8	2.0	3.1	1.9	1.1
61	100.0	97.5	…	…	93.7	1.7	2.1	2.0	0.5
62	100.0	96.9	…	…	92.8	1.7	2.4	2.2	0.9
63	100.0	97.1	…	…	93.9	0.8	2.4	2.2	0.7
平成 元年	100.0	98.6	…	…	94.8	1.0	2.9	0.8	0.6
2	100.0	98.2	…	…	94.2	1.3	2.7	1.4	0.4
3	100.0	99.0	…	…	95.3	1.5	2.2	0.5	0.5
4	100.0	98.2	…	…	94.9	0.7	2.6	1.1	0.8
5	100.0	94.5	…	…	90.3	2.0	2.2	3.9	1.6
6	100.0	94.0	…	…	90.9	1.9	1.2	3.8	2.2
7	100.0	94.3	…	…	90.6	2.6	1.1	4.4	1.3
8	100.0	94.1	…	…	91.4	1.8	0.9	4.5	1.4
9	100.0	93.2	…	…	90.8	1.8	0.6	5.3	1.5
10 ⁶⁾	100.0	85.6	…	…	83.7	0.5	1.4	11.1	3.3
11	100.0	80.6	76.8	3.8	76.8	1.5	2.2	14.3	5.1
12	100.0	78.8	75.8	2.9	76.0	1.5	1.2	19.1	2.2
13	100.0	76.0	73.8	2.2	73.8	1.0	1.3	21.3	2.7
14	100.0	68.6	61.5	7.0	65.5	1.8	1.3	27.1	4.3
15	100.0	69.9	62.7	7.2	67.4	1.3	1.2	24.1	6.0
16	100.0	73.3	69.8	3.4	70.9	1.7	0.7	21.4	5.3
17	100.0	76.3	73.5	2.8	75.0	0.6	0.7	20.3	3.4
18	100.0	78.8	77.5	1.3	76.8	1.0	1.0	16.6	4.6
19	100.0	84.4	82.8	1.6	80.6	1.7	2.1	13.3	2.2
20 ⁷⁾	100.0	77.1	74.0	3.1	73.2	2.0	1.9	17.6	5.3
21	100.0	74.6	61.7	12.9	68.7	3.4	1.3	21.6	3.8
22	100.0	78.6	74.1	4.5	74.5	2.0	2.1	17.2	4.3
23	100.0	78.2	73.8	4.4	72.0	3.9	2.2	18.4	3.4
24	100.0	79.2	75.3	3.9	74.4	2.5	2.3	15.2	5.6
25	100.0	82.4	79.8	2.5	76.9	2.4	3.0	12.9	4.7
26	100.0	85.7	83.6	2.1	80.0	3.0	2.7	9.7	4.6
27	100.0	86.6	85.4	1.2	81.8	1.6	3.2	8.4	5.0
28	100.0	87.5	86.7	0.8	81.9	2.5	3.0	7.1	5.4
29	100.0	88.0	87.8	0.2	82.6	3.5	2.0	6.3	5.7
30	100.0	90.0	89.7	0.4	81.2	4.7	4.1	5.9	4.0
令和 元年	100.0	90.3	90.2	0.0	80.8	5.7	3.8	5.4	4.3
2	100.0	83.6	81.5	2.1	76.7	3.4	3.6	9.5	6.9
3	100.0	81.7	80.7	1.0	74.0	4.6	3.1	10.1	8.2
4	100.0	86.6	85.7	0.9	74.9	6.7	4.9	6.2	7.3
5	100.0	89.2	89.1	0.2	79.1	5.1	5.0	5.4	5.3

- 注： 1) 「小計」は全企業に占める賃金の改定を実施した又は予定している企業の割合である。また「小計」には改定の実施時期不詳を含む。
 2) 「改定の実施時期」とは、改定後の賃金が給与計算に適用される時期をいう。
 3) 「1～8月のみ」とは、1～8月に賃金の改定を実施し、9～12月に賃金の改定を予定しない企業、「9～12月のみ」とは、1～8月に賃金の改定を実施せず、9～12月に賃金の改定を予定する企業、「1～8月及び9～12月」とは、1～8月に賃金の改定を実施し、更に9～12月に賃金の改定を予定する企業をいう。
 4) 「賃金の改定を実施しない」とは、1～8月に賃金の改定を実施せず、9～12月にも実施する予定がない企業をいう。
 5) 「未定」とは、1～8月に賃金の改定を実施せず、9～12月に実施するかどうかは「未定である」とした企業をいう。
 6) 平成10年調査以前は、「賃金の改定を実施した又は予定」の有無のみを調査しており、賃金の改定の内訳については調査していない。また、「賃金の改定を実施した又は予定している（小計）」についても、平成11年調査以降とは接続しない。
 7) 平成20年調査以前は、調査実施時期が9月であり、改定実施時期を「1～9月」、「10～12月」として調査している。

付表2 1人平均賃金の改定額及び改定率の推移

年	1人平均賃金の 改定額(円)	1人平均賃金の 改定率(%)
昭和 57年	12,802	7.0
58	8,787	4.6
59	9,130	4.7
60	10,218	5.0
61	9,506	4.5
62	7,988	3.6
63	9,731	4.4
平成 元年	12,085	5.3
2	14,199	6.0
3	14,394	5.9
4	12,939	5.1
5	9,711	3.7
6	7,948	3.0
7	7,206	2.7
8	7,245	2.7
9	7,224	2.6
10 ¹⁾	6,079	2.3
11	4,591	1.7
12	4,177	1.5
13	4,163	1.5
14	3,167	1.1
15	3,064	1.0
16	3,751	1.3
17	3,904	1.4
18	4,341	1.6
19	4,367	1.7
20	4,417	1.7
21	3,083	1.1
22	3,672	1.3
23	3,513	1.2
24	4,036	1.4
25	4,375	1.5
26	5,254	1.8
27	5,282	1.9
28	5,176	1.9
29	5,627	2.0
30	5,675	2.0
令和 元年	5,592	2.0
2	4,940	1.7
3	4,694	1.6
4	5,534	1.9
5	9,437	3.2
<うち引上げ ²⁾ >		
令和 4年	5,828	2.1
5	9,779	3.4
<うち引下げ ²⁾ >		
令和 4年	△ 4,022	△ 2.4
5	△ 4,814	△ 0.2

注 賃金の改定を実施した又は予定して額も決定している企業及び賃金の改定を実施しない企業についての数値である。

- 1) 平成10年調査以前は、1人平均賃金が増額した企業についてのみ調査している。
- 2) 本表において「うち引上げ」とは、賃金の改定により1人平均賃金を引き上げた企業について、「うち引下げ」とは、賃金の改定により1人平均賃金を引き下げた企業についての数値である。

付表3 定期昇給の実施状況別企業割合の推移

(単位：%)

年	賃金の改定を実施した 又は予定している企業 及び賃金の改定を実施 しない企業 ^{1) 2)}		管理職の定期昇給			一般職の定期昇給		
			行った ・行う	行わな かった・ 行わない	延期 した	行った ・行う	行わな かった・ 行わない	延期 した
平成 17 年	[96.6]	100.0	45.6	9.2	0.8	58.6	8.9	0.7
18	[95.4]	100.0	52.0	7.4	0.2	64.6	7.8	0.3
19	[97.8]	100.0	54.4	6.9	0.1	65.3	6.8	0.1
20	[94.7]	100.0	55.7	10.6	1.0	65.8	9.1	0.8
21	[96.2]	100.0	47.3	18.2	1.9	56.7	17.0	3.6
22	[95.7]	100.0	51.6	13.7	0.9	63.1	11.1	1.5
23	[96.6]	100.0	52.4	15.0	1.2	62.9	13.5	0.9
24	[94.4]	100.0	56.7	11.2	0.7	64.7	9.7	0.8
25	[95.3]	100.0	59.4	8.8	0.6	70.3	6.9	0.7
26	[95.4]	100.0	66.1	6.7	0.2	74.3	5.4	0.4
27	[95.0]	100.0	69.9	6.1	0.4	77.6	5.5	0.1
28	[94.6]	100.0	68.1	5.0	0.8	78.4	3.3	0.5
29	[94.3]	100.0	69.0	6.3	0.6	77.5	5.0	0.4
30	[96.0]	100.0	69.7	8.1	0.6	80.1	4.5	0.6
令和 元年	[95.7]	100.0	71.2	6.2	0.2	80.4	3.0	0.0
2	[93.1]	100.0	67.3	8.8	0.7	75.5	5.9	1.2
3	[91.8]	100.0	63.1	9.3	0.5	74.6	6.4	0.6
4	[92.7]	100.0	64.5	5.8	0.6	74.1	3.3	0.6
5	[94.7]	100.0	71.8	5.0	1.0	79.5	3.7	0.2

注：1) []内は、全企業に占める賃金の改定を実施した又は予定している企業及び賃金の改定を実施しない企業の割合である。

2) 賃金の改定を実施した又は予定している企業及び賃金の改定を実施しない企業には、管理職及び一般職それぞれにおいて、定昇制度がない企業及び定昇制度の有無不詳の企業を含む。

付表4 ベア等の実施状況別企業割合の推移

(単位：%)

年	管理職						一般職					
	定昇制度がある 企業 ^{1) 2)}		定昇とベ ア等の区 別あり	ベア等の実施状況			定昇制度がある 企業 ^{1) 2)}		定昇とベ ア等の区 別あり	ベア等の実施状況		
				ベアを 行った ・行う	ベアを 行わな かった・ 行わない	ベース ダウンを 行った・ 行う				ベアを 行った ・行う	ベアを 行わな かった・ 行わない	ベース ダウンを 行った・ 行う
平成 17 年	[55.6]	100.0	48.2	12.5	35.6	0.1	[68.2]	100.0	53.6	14.3	39.1	0.1
18	[59.6]	100.0	50.5	11.8	38.7	0.1	[72.7]	100.0	53.7	15.8	37.7	0.2
19	[62.5]	100.0	50.3	18.6	31.3	0.5	[73.6]	100.0	55.6	23.5	31.6	0.5
20	[67.4]	100.0	52.4	19.8	32.4	0.2	[75.6]	100.0	56.7	21.4	35.3	0.1
21	[67.5]	100.0	61.7	12.7	46.3	2.7	[77.2]	100.0	63.6	12.6	48.8	2.2
22	[66.3]	100.0	58.7	9.4	48.4	0.8	[75.7]	100.0	59.8	9.6	49.7	0.6
23	[68.6]	100.0	54.6	11.7	41.1	1.9	[77.2]	100.0	57.9	13.4	43.0	1.5
24	[68.6]	100.0	57.0	9.8	47.1	0.2	[75.3]	100.0	60.0	12.1	47.7	0.2
25	[68.9]	100.0	56.6	11.5	45.0	0.2	[77.9]	100.0	60.2	13.9	45.6	0.8
26	[73.0]	100.0	62.1	18.6	43.3	0.2	[80.0]	100.0	66.8	24.8	41.2	0.7
27	[76.3]	100.0	58.5	20.5	37.8	0.2	[83.1]	100.0	61.2	25.0	36.2	-
28	[73.9]	100.0	57.8	17.8	39.9	0.2	[82.2]	100.0	58.9	23.3	35.4	0.1
29	[75.9]	100.0	61.4	22.9	38.4	0.1	[82.8]	100.0	64.2	26.8	37.4	0.1
30	[78.3]	100.0	60.9	24.2	36.6	0.0	[85.1]	100.0	63.4	29.8	33.6	0.0
令和 元年	[77.5]	100.0	64.3	24.8	39.6	0.0	[83.5]	100.0	66.2	31.7	34.3	0.1
2	[76.8]	100.0	60.6	21.5	38.5	0.6	[82.5]	100.0	62.7	26.0	36.1	0.6
3	[73.0]	100.0	56.9	15.1	41.5	0.3	[81.6]	100.0	58.6	17.7	40.9	0.0
4	[70.9]	100.0	60.4	24.6	35.6	0.2	[78.0]	100.0	63.7	29.9	33.8	0.0
5	[77.7]	100.0	64.5	43.4	21.0	-	[83.4]	100.0	67.6	49.5	18.2	-

注：1) []内は、賃金の改定を実施した又は予定している企業及び賃金の改定を実施しない企業に占める定昇制度がある企業の割合である。

2) 定昇制度がある企業には、管理職及び一般職それぞれにおいて、定昇とベア等の区別のない企業及び定昇とベア等の区別の有無不詳の企業を含む。

付表5 企業規模別賃金カットを実施した又は予定している企業割合の推移

企業規模	(単位：%)																		
	平成17年	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4	5
計	15.3	9.7	10.2	9.3	30.9	23.0	15.2	12.8	14.5	9.0	9.5	10.7	6.3	6.1	6.0	10.9	7.7	7.1	6.3
5,000人以上	5.6	3.6	6.8	2.5	28.6	16.8	5.7	10.2	9.3	10.8	4.5	5.9	6.1	7.0	7.3	8.2	12.1	7.2	5.7
1,000～4,999人	8.3	10.2	2.3	4.8	31.3	24.7	11.5	14.9	11.1	8.7	8.3	8.4	6.4	6.5	6.0	7.7	10.2	6.4	9.5
300～999人	12.2	13.1	9.7	8.9	31.9	20.8	12.0	9.3	16.0	13.3	10.0	10.6	5.7	7.9	6.2	12.0	9.7	7.2	4.5
100～299人	17.3	8.2	11.2	10.0	30.5	23.7	16.7	13.7	14.4	7.6	9.6	11.1	6.6	5.5	5.9	10.9	6.8	7.1	6.6

注：賃金の改定を実施した又は予定している額も決定している企業に占める賃金カットを実施した又は予定している企業の割合である。
 なお、賃金カットを実施した又は予定している企業には、1人平均賃金を引き上げた企業（予定を含む）と引き下げた企業（予定を含む）を含む。

付表6 賃金の改定の決定に当たり最も重視した要素別企業割合の推移

年	賃金の改定を実施した又は予定している額も決定している企業	賃金の改定の決定に当たり最も重視した要素									重視した要素はない	不詳
		企業の業績	世間相場	雇用の維持	労働力の確保・定着	物価の動向	労使関係の安定	親会社又は関連（グループ）会社の改定の動向	前年度の改定実績	その他の要素		
平成17年	100.0	75.2	8.4	4.3	4.2	0.3	1.9	…	…	5.6	…	…
18	100.0	63.5	8.6	6.4	7.2	0.6	6.2	…	…	7.5	…	…
19	100.0	70.8	5.4	6.9	9.2	0.1	0.8	…	…	6.9	…	…
20 ¹⁾	100.0	66.2	5.6	6.6	9.4	0.7	2.9	…	…	8.7	…	…
21	100.0	61.6	3.2	5.2	3.9	0.1	2.4	5.2	1.5	3.2	8.7	5.0
22	100.0	60.4	2.9	2.4	4.3	0.0	2.4	4.0	3.8	4.3	15.4	0.1
23	100.0	58.5	2.3	2.2	3.4	0.2	2.0	6.1	2.6	3.6	18.5	0.6
24	100.0	52.0	3.6	5.8	3.8	0.5	1.5	6.3	4.1	2.5	18.3	1.6
25	100.0	58.6	1.9	2.5	3.9	0.2	2.4	5.0	2.0	3.5	18.9	1.1
26	100.0	50.7	4.7	5.2	5.8	1.2	2.7	4.6	2.6	4.0	17.2	1.3
27	100.0	52.6	3.6	5.0	6.8	0.3	2.6	5.4	4.4	3.0	15.0	1.4
28	100.0	51.4	4.2	4.6	11.0	0.2	1.6	5.9	2.7	0.9	15.7	1.8
29	100.0	55.0	5.1	3.9	8.7	0.1	1.4	4.6	4.0	2.8	13.1	1.3
30	100.0	50.4	4.5	7.0	9.0	0.1	2.1	5.5	2.5	1.4	16.3	1.3
令和元年	100.0	50.0	6.2	6.5	9.9	0.2	1.7	4.0	4.8	1.6	13.8	1.2
2	100.0	49.0	3.0	8.0	8.0	0.5	2.0	4.0	4.7	1.5	16.2	3.2
3	100.0	47.3	3.0	9.0	8.2	0.0	2.2	5.0	3.6	3.9	17.0	0.6
4	100.0	40.0	3.0	10.7	11.9	1.3	2.1	4.6	3.0	2.7	16.7	4.0
5	100.0	36.0	6.7	11.6	16.1	7.9	1.2	5.1	1.1	1.5	9.5	3.3

注：1) 平成20年調査以前は賃金の改定を実施した又は予定している額も決定している企業のうち、改定に当たり最も重視した要素に記入のある企業を100.0%とした割合であり、比較の際は注意を要する。